

EMBRACING THE ARTICLE 9 OF THE JAPANESE CONSTITUTION

2025年

11月16日

ドキュメンタリー映画

# アレン・ネルソン

9条を抱きしめて  
～元米海兵隊員が語る戦争の真実～

## 完成披露上映会



【日時】 **11月16日(日)**

13:30 開場

14:00 開演 上映時間 約75分

【会場】 **大阪私学会館 講堂** 大阪市都島区網島町 6-20

【参加費】 1,000円

終映後、映画にも出演された沖縄在住の政治学者、  
ダグラス・ラミスさんの講演会を予定しています。

<アクセス>

【JR東西線】大阪城北詰駅徒歩2分

【JR環状線・東西線】【京阪電車】京橋駅徒歩12分

【大阪メトロ長堀鶴見緑地線】

京橋駅・片町口、大阪ビジネスパーク駅徒歩10分

【主催】日本ジャーナリスト会議関西支部

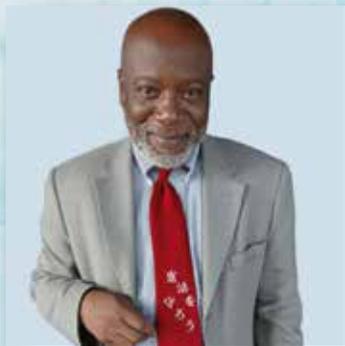
アレン・ネルソン平和プロジェクト

【お問い合わせ】阿部 090-8986-8337



ドキュメンタリー映画

# アレン・ネルソン



## ストーリー

真の戦争とは、平和とは何かを語り続けた、アレン・ネルソンさん。ベトナム戦争に従軍した元アメリカ海兵隊員です。帰還後、過酷な戦場体験によるPTSD（心的外傷後ストレス障害）に苦しめられたアレンさんは、18年に及ぶ治療の末立ち直ります。沖縄での米兵による少女暴行事件をきっかけに、1996年から日本での講演活動を開始。その数は13年間でのべ1200回を数えました。アレンさんが日本での講演に力を入れた最大の理由は、憲法9条との出会い。9条に平和への希望を見出しました。

アレンさんは、2009年にベトナム戦争で浴びた枯葉剤が原因とみられる血液のガンで亡くなります。62歳でした。戦争に苦しめられた彼は、最後まで戦争が原因で命を落とすこととなります。アレンさんが亡くなった後も世界で戦火が絶えることはありません。戦争という殺戮に関わった一人として、アレンさんは、命が尽きるまで戦争や暴力の恐ろしさを訴え、人間が平和に生きていくための道筋を優しくも力強く示し続けました。

2025年製作（75分）



## ナレーション

### 森山良子さんからのメッセージ

戦後80年。今、日本自体が戦争というものの肌感がなくなってきた中、とてもショッキングな映画だと思いました。敵味方ではなく、地球上に授かった一人一人の大切な命が無残に奪われていくことに、常に悲しみと怒りを感じています。たくさんの若い方たちに、どれほど戦争が残酷な現実をはらんでいるかを観ていただきたい。

## 監督・阿部裕一

1958年生まれ。読売テレビ在職中、沖縄戦の悲劇を描いた『戦場の子供たち』や原爆をテーマにした『かあさんと呼びたい』『5000人のカルテ』など多数のドキュメンタリー番組を制作。放送文化基金賞優秀賞、関西ディレクター大賞、坂田記念ジャーナリズム賞グランプリなどを受賞。今回の映画のもとになるDVD『9条を抱きしめて』も制作した。



## 講演・ダグラス・ラミス

1936年、サンフランシスコ生まれ。元アメリカ海兵隊員。政治学者。1980年から津田塾大学教授。2000年に退官後沖縄に移住。執筆や講演活動を行う平和運動家。『ラディカルな日本国憲法』『憲法と戦争』『なぜアメリカはこんなに戦争をするのか』『日本は、本当に平和憲法を捨てるのですか?』など著書多数。